

おぎ
だより

平成26年3月号

杉並区立井荻小学校

平成26年2月28日発行 No.548

成長の確かめ

校長 梅津 典子

3月、春の息吹を感じるとともに子どもたちの成長を実感する節目の月を迎えました。

学校では、時の節目、人の節目のこの3月は、今年度の教育活動の評価をふまえて次年度の目標を立てる重要な月です。それは、全教職員が一人一人の子どもを、目指すべき学校教育目標の子ども像に近づけるよう、教育活動を計画し、努力し、力を合わせて、実践してきたからです。

ここ数年、私は学年の終わりの修了式で子どもたちに「去年より少しでも学校目標である○考える子 ○やさしい子 ○強い子に近づけましたか？1年前の自分と違う自分になっていますか？」と尋ねています。自己評価の厳しい子、自分に甘い子など様々ですが、一年前より少しでも成長した自分を感じてほしいと思います。

ご家庭でも、子どもたちの成長を振り返ってみてはどうでしょうか？日々共に生活しているとなかなか見えにくいかもしれませんが、1年前の様子と比べて、体も頭も心も成長しているところがあるはずです。そして、日常生活のさまざまな場面で見られるお子さんの言動から、お子さんの成長ぶりを見つけ、話して聞かせてほしいと思います。

例えば、「言われなくても、翌日の支度をしたり、宿題を終わらせたりした。」「字がきれいになった。」「本を読む時間が増えた。」「決められたお手伝いを毎日した。」「毎日朝遊びでたくさん運動した。」「・・・

学習や運動面ばかりではありません。次のような他の人と豊かな人間関係を築くために必要な「人間関係を作り出す力・継続していく力」があるかというこも、子どもたちの成長に大切なことです。

人間関係を作り出す力・継続していく力

- ・けんかをして仲直りできる
- ・友達の輪に入っている
- ・気持ちを相手にうまく話せる
- ・困っている友達を助けられる
- ・気持ちを素直に表せる
- ・失敗したらあやまれる
- ・自分の願いを相手に頼める
- ・怒っている人をなだめられる
- ・初めての人も気軽に話せる
- ・違うタイプの人ともうまくやれる

友達同士のやり取りの中では、いろいろなもめごとや些細な誤解があります。その中で起こる複雑で微妙な感情をどう表現するか、どう伝えていくかは、豊かな人間関係を築いていく上で、大変大事なことです。

- 自分を見つめる力
- 自分をコントロールできる力
- 他の人との違いが分かる力
- 他の人と一緒にできる力
- 自分を表現できる力

など、日常の生活の中から、子どもたちの姿を比べ、捉えなおしてみるのも大切なことだと思います。

この一年間ご理解ご協力ありがとうございました。子どもたちの生き生きと輝く心身の成長を願って、今後も努力してまいります。

《1組》 ～もうすぐ卒業～

・ぼくが一番心に残っていることは、みんなで協力した弓ヶ浜のサンドアートです。むずかしかったけれど、うまくできたので、心に残っています。

・ぼくが一番小学校生活で心に残ったことは、組体操です。理由は、協力してサポテンとピラミッドが完成したからです。

・ぼくがこの6年間で一番心に残っていることは、組体操です。みんなが、一生懸命に取り組んだことが、成功へと導いたのだなと思いました。

・私が6年間で一番心に残っていることは、運動会の三段タワーです。何度も失敗しましたが、練習しているうちにタワーを立てることができるようになったので、あきらめないことの大切さを学びました。

・ぼくが小学校生活で一番心に残ったのは、普段の学校生活です。友達と話し合ったり、遊んだりした日々が、ぼくにとっては、どんな行事より心に残っています。

・私が6年間で一番心に残っていることは、連合運動会です。私は、運動が苦手だけれど、これには出なくてはならないので、どうせやるならと一生懸命練習しました。終わった後の達成感は、一生忘れないと思います。

・ぼくが小学校生活で一番心に残ったことは、富士学園と弓ヶ浜のことです。なぜかという、富士学園では山に登った時、すごく爽快感があり、弓ヶ浜の砂浜を走った時は楽しかったからです。

・ぼくが一番心に残っていることは、組体操です。組体操を5年と協力して作り上げるのは、大変だったけれど、成功した達成感を感じることができ、いい思い出になりました。

・私が一番心に残っていることは、組体操の三段タワーです。最初はうまくいかなかったけれど、だんだんうまくなってきました。本番、成功しなかったけれど、みんなの心が一つになったと実感しました。

・ぼくが一番思い出に残っていることは、移動教室です。特に最後の弓ヶ浜。中でも、サンドアートがよかったです。この1年、「最後の」がつくことばかりだったけれど、すごくおもしろかったです。

・ぼくは小学校生活で一番心に残ったのは、移動教室のバスレクです。バスの中で盛り上がり、すごく楽しめて、友情が深まったのでよかったです。

・ぼくが一番思い出に残っていることは、運動会です。理由は、最後の運動会で、100m走も組体操もうまくいったからです。

・私が小学校生活で一番心に残ったことは、移動教室です。「共同生活」というものを初めて体験しました。一緒にいると、いろいろ助け合え、友達との絆が深まり、その後の学校生活がさらに楽しくなりました。

・ぼくが6年間で一番思い出に残ったことは、1年生の学芸会です。理由は、オーディションでやりたい役につくことができ、他の人たちと協力して大成功したからです。

・小学校生活で一番心に残っているのは、富士学園と弓ヶ浜移動教室です。両方とも、班行動でのチームワークがとても大切だということを学びました。

・ぼくがこの井荻小学校で心に残ったことは、川の活動についてです。今の中3から始めて、4年間引き継いだ活動が、杉並区や東京都と交渉して、100億円かけて下水管を大きくしてくれたからです。

・私が小学校生活で一番心に残ったことは、体育の授業です。できない動きがあったりすると、周りのできる人たちが、しっかり教えてくれて、できるようになり、達成感があるからです。

・私が井荻小学校で一番心に残っていることは、運動会の組体操です。最初はバラバラで、もう間に合わないときらめていたのですが、最後に心が一つになれば、組体操が成功し、とても感動しました。

・私が一番心に残ったことは、弓ヶ浜移動教室です。弓ヶ浜では、みんなを待たせずに、時間を守り、みんなで協力して行動することを学びました。

・小学校生活で学んだことは「友達の大切さ」です。苦しい時やつらい時、友達に支えてもらい、良い友達をもったなど心の底から思いました。中学でも学んだことを生かして生活していきたいです。

・私が6年間で学んだことは「友達」や「仲間」の大切さです。共に過ごし、つらい経験を乗り越えてきた友達。組体操で助け合いながら作り上げた仲間の大切さは、私の中で一番素晴らしい出来事でした。

・私は、移動教室が小学校生活の中で一番心に残っています。ご飯を食べる時も寝る時もずっと友達と過ごした時間は、とても楽しく、「友達」という存在の素晴らしさを改めて知りました。

・小学校生活の中で、一番心に残ったことは、富士学園です。学校では分からない友達の良い面がわかり、協力して3日間過ごすことで、改めていい友達だなと思いました。

・ぼくは、小学校生活で一番心に残ったことは、移動教室です。みんなで泊まって、夜おもしろい話をして、友達の仲が深まって、楽しかったです。

・私が6年間で一番楽しかったのは、移動教室です。友達と2泊3日過ごして、いろいろ大変だったけれど、みんな協力してアイスも食べて、すごく楽しかったです。

《2組》

・私が6年間で学んだことは、友達と協力することの大切さです。移動教室で三日間生活するには、友達の協力がなければできないことがたくさんありました。これからも、友達と協力することを大切にしていきたいです。

・ぼくの6年間の一番の思い出は、移動教室です。特に係活動が思い出に残っています。それは、自分がみんなのために頑張ることができたからです。

・私が6年間で成長したことは、人の気持ちを考えることです。人の気持ちは完璧には分からないかもしれないけれど、自分なりに考えて中学校でも生活していきたいです。

・私が6年間で一番頑張ったことは組体操です。組体操ではできない技を体が痛くなるほど毎日練習しました。だから、成功できたときはとてもうれしかったです。

・私が6年間、一番思い出に残ったのは移動教室です。大好きな友達と3日間協力しながら生活したことで、より絆が深まったし、友達の大切さを学ぶことができました。

・私が6年間の小学校生活で学んだことは、相手の気持ちを考えて行動し、友達と協力することの大切さです。特に運動会や移動教室では、その大切さを実感しました。中学校では学んだことを生かしていきたいと思っています。

・6年間で心に残ったことは、サッカーのニューイヤーズカップで3位になって、ぼくが初めて公式戦で得点できたことです。これまで練習してきたから決められたんだと思いました。

・私が、小学校6年間で学んだことは、友達は大切だということです。友達は自分を支えてくれ、おかげで楽しい日々を過ごすことができました。だから、わたしも友達を支えていきたいです。

・私がこの6年間で一番心に残ったのは、移動教室です。移動教室では、譲り合ったり、協力したりしないと生活できないからです。班の目標を守ることができました。

・ぼくが6年間で学んだことは、みんなで協力することの大切さです。特に感じたのは、運動会です。運動会のピラミッドは、6年生と5年生のみんなが協力できたからこそ、立派にできたと思います。

・私の6年間の一番の思い出は、友達と過ごした時間です。けんかもあったけど、助け合ったり協力したりできました。友達というと1人より楽しいし、努力できることを学びました。卒業してもずっと仲良くしたいです。

・私は小学校生活で友達の大切さを学ぶことができました。運動会の組体操、自分一人だったらできなかったことも友達がいいたら最後までやり切れたのだと思います。みんなと協力をして作りあげた喜びは私の大切な宝物です。

・6年間を通して一番思い出に残っていることは、移動教室です。友達とけんかして原因が私だとわかり、すぐにあやまりました。そうしたら許してくれて、そこから「自分が悪いと思ったら謝る。」ということを学びました。

・今、一番楽しいことは、善福寺公園で大塚君とサッカーをすることです。軽めにディフェンスの練習をするのが楽しいです。

・私は積極的に行動することの大切さを学びました。全校遠足の時、1年生に勇気を出して自分から話しかけて打ち解けることができたからです。これからも、この経験を生かしていきたいです。

・私は、中学校であきらめずに努力していきたいです。それは、小学校生活で、努力をすれば幅広いことができると知ったからです。私は、理解するのに時間のかかることがあるので、努力してさらにいろいろなことに挑戦したいです。

・ぼくがこの6年間で頑張ったことは、あいさつです。あいさつは、サッカーでも生活面でも大切と感じます。大事なことから、大人になっても続けていきたいです。

・ぼくが6年間で頑張ったことは、サッカーです。そのサッカーで何回か賞をもらえてうれしかったです。中学校でもサッカーを続けていきたいと思っています。

・私は、この6年間で協力することで大きな達成感を味わえることを知りました。だから、中学校でも協力することの大切さを感じながら過ごしたいと思っています。

・ぼくの6年間の思い出は、6年生のときの運動会です。応援団で応援団長をやって、最後の運動会で勝ったのでよかったです。

・ぼくがこの6年間で学んだことは、友達の大切さです。自分一人でやるときは苦しくても、友達がいれば苦しさもだいぶなくなることがよくありました。中学校でもよい友達をたくさん作ってきたいです。

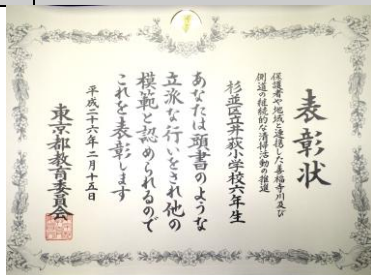
・ぼくがこの6年間で頑張ったことは、勉強とサッカーです。勉強は集中することを心がけて取り組みました。サッカーは、試合や練習を一回一回大切にやってきました。これからも、これらのことを大切にがんばりたいです。

・ぼくがこの6年間で大切だと思ったのは、チームワークです。野球でも組体操でもチームワークが必要だということがわかりました。中学校でもチームワークを大切にしていきたいです。

・ぼくがこの6年間で学んだことは協力することです。バスケ部の練習試合でこのことを学びました。仲間とパスをつなげてシュートが決まった時が「協力」だと思いました。中学校でも協力してがんばりたいです。

3月行事予定

1	土	地区班班長会
2	日	ざりまるふれあいコンサート
3	月	委員会
4	火	授業参観 5校時・保護者会 (3・4年) 幼小保交流 (1年) いおぎ丸全体会 (特活室)
5	水	
6	木	授業参観 5校時・保護者会 (1・2年)
7	金	6年生を送る会 授業参観 5校時・保護者会 (5・6年)
8	土	デイキャンプ
9	日	
10	月	お話し会① 荻中体験授業 (5年)
11	火	B時程 一斉防災訓練 PTA 総会 15:45～
12	水	午前授業 (2の1以外) 木星観測会
13	木	感謝集会
14	金	お話し会②
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	PTA家庭教育講座
20	木	給食終了・大掃除 卒業式前日準備 (5年生以外 13:45 下校)
21	金	春分の日
22	土	
23	日	
24	月	修了式 卒業式予行練習 (1～4年下校 10:25)
25	火	卒業式 (5・6年下校 12:05)
26	水	春季休業日始
27	木	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">来年度4月初めの予定</p> <p>4月7日(月) 始業式・入学式</p> <p>4月8日(火) 大掃除</p> <p>4月9日(水) 給食開始</p> </div>
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	



← 6年生全員
に対して東京都
から授与され
た賞状。

3月の生活目標

「感謝の気持ちを伝えよう」

生活指導部 栗原 慎太郎

「ありがとう」には、相手に対する感謝の気持ちが込められていることと、よいことを伝え広げることがあることを昨年度に書かせていただきました。

今回は「おかげさまで」という言葉について書かせていただきます。

「おかげさまで」は漢字で「御陰（蔭）様で」と書き表します。自分の見えないところや気づかないところで、誰かが自分の役に立って支えてくれているという意味です。

この言葉は大相撲の第65代横綱である貴乃花関が大関や横綱に昇進したときや、幕内優勝を成し遂げたときなどによく使われていました。そこには「自分がこのような栄光を手にしたのは、決して自分一人の努力だけではない。自分のことを陰で支えてくださっている方々のお陰なのだ。」という謙虚さをもたせてくれる言葉だと私は考えています。

いよいよ3学期の最後の月です。3月は1年間のまとめの月、新学年の準備の月です。

1年間お世話になった教室、机・椅子、自分の持ち物に感謝の気持ちをもって、きれいにしてから次に引き継いでほしいと思います。また、お世話になった方々に「無事に過ごせたこと、健康でいられたこと」に対する感謝の気持ちに「おかげさまで」の思いを込めて、1年間の締めくくりをしてほしいと思います。

井荻小学校児童の表彰と発表

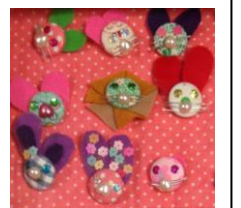
○本校6年生の「継続的な清掃活動の推進」に対して東京都教育委員会より表彰されました。代表児童の6年杉山雄也くんに都庁にて賞状が授与されました。



○6年長嶋玲伽さんが、杉並区理科研究発表会で杉並区代表4名の一人に選ばれ、「昆虫の生きる力」のテーマですばらしい研究発表をしました。発表には6年芹澤花さんが協力してくれました。



○6年今泉名結さんが、作品「動物くるみボタン」で全国学芸サイエンスコンクール・小学校デザイン部門で全国銀賞に選ばれました。



☆みなさんががんばりました。おめでとうございます。